

生涯研修プログラム

1. レクチャーシリーズ B.

3) 先天異常モニタリング

横浜市愛児センター所長 住 吉 好 雄

定義, 先天異常モニタリングとは, ある種の先天異常児の出生増加や新しい先天異常児の出生情報を迅速かつ正確に収集し, その分析を行い, 環境中に導入された催奇形物質の早期発見を行うための継続的監視システムである。この監視システムにより得られた結果に基づき具体的な対策を講ずる一連のシステムを先天異常サーベイランスというが, 一般的にはモニタリングとサーベイランスを厳密に区別せずほぼ同義語として使用している。

今回は以下の項目について解説する。

1. わが国で行われている先天異常モニタリング

a) 人口ベース(鳥取県, 神奈川県, 石川県, 東海3県(口唇・口蓋裂))

b) 病院ベース(日母, 東京都立病産院)

2. 国際機構

a) ICBOMS (International Clearinghouse for Birth Defects Monitoring System)

b) EUROCAT (European Congenital Anomalies and Twins)

3. 日母モニタリングシステム

4. 日母モニタリングの調査結果

5. 口唇・口蓋裂の疫学

6. 無脳症, 二分脊椎症の疫学

7. ダウン症の疫学

8. 出生前診断と先天異常

9. ICBOMS 国際機構とその活動状況

10. 先天異常の発生と予防

4) 新生児の呼吸異常

国立小児病院新生児科医長 河 野 寿 夫

新生児は, 出生時の第一呼吸を契機に, 胎盤に依存した胎児循環から, 自らの肺によるガス交換を行う新生児循環へと急激な変化の中を適応してゆく。急激な変化ゆえこの適応過程における呼吸器系の障害は, 循環器系と並び数多く認められる。

呼吸の異常でよくみられる症状は, 多呼吸, 陥没呼吸, 呻吟などである。多呼吸は, 毎分60以上の呼吸数のものをさし, 最も多くみられる異常である。一回換気量の低下を呼吸数の増加により補おうとする防御機構と考えられている。陥没呼吸は, 吸気努力により胸腔内陰圧が強くなった結果, 肋間腔や胸骨上部など胸壁の柔らかい部分が吸気時に陥凹するものである。胸骨上部の著しい陥没

は上気道狭窄の際よくみられる。呻吟は, 呼気時に聴取される呻き声で, 声門を閉じ呼気抵抗を増加させることにより肺胞の虚脱を防ごうとする一種の自己防衛手段と考えられており, 呼吸窮迫症候群(RDS)に認められることで知られている。その他の異常では, 周期性呼吸, 無呼吸発作, 喘鳴, 鼻翼呼吸などがしばしば認められる。

これらの呼吸の異常は, 呼吸器系のみならず感染症, 神経系の異常, 代謝異常などの症状としても認められ, いずれも適切な処置を施さず放置すると種々の後障害を残す可能性もあり, 見落とすことなく察知することが重要である。